

中国地方整備局同時発表

平成30年7月  
豪雨関連

平成30年8月23日  
道路局企画課

## 第1回 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会 の結果について

○ 本日開催した「広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会」の結果について、別紙のとおり、お知らせします。

(参考) 第1回 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会  
1. 日時 平成30年8月23日(木) 10:00~12:00  
2. 場所 広島合同庁舎 2号館7階5号会議室

問い合わせ先:

道路局 企画課 道路経済調査室 掛井 (内線 37632)

(代表) TEL. 03-5253-8111

(企画課直通) TEL. 03-5253-8485 FAX. 03-5253-1618

中国地方整備局 道路部 道路計画課 吉田 (内線 4211)

(代表) TEL. 082-221-9231 (夜間) TEL. 082-511-6301

## 第1回 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会 結果概要

- 広島・呉・東広島都市圏において、被災地の早期の復旧・復興や生活再建、周辺地域も含めた経済活動の回復・維持のため、地域の交通網が完全に復旧するまでの間、関連する道路や公共交通機関等の復旧状況を踏まえつつ、これまでのソフト・ハードの交通対策の適時・適切な見直しや交通需要の抑制策等の交通マネジメントを、関係者が協力して取り組むことにより、幹線道路の渋滞緩和を図り、円滑な物資や旅客輸送を確保する。
- 広島・呉間については、国道31号の緊急交差点改良、広島呉道路の天応西～呉 IC間のバス通行を可能とする運用、JR坂駅周辺におけるバス専用レーンの設置等、これまでのハード・ソフト対策により、課題となっていた広島から呉方面の朝ピーク時間帯のバス所要時間は、最大2.5時間であったものが、1～1.5時間に短縮しており改善が見られる。
- 他方、依然として残る広島から呉方面の朝ピーク時間帯の国道31号の渋滞の解消を図るため、需要側と供給側の両面から同時にマネジメントを行う観点から、以下について関係者が連携して取り組んでいくことを確認した。
  - (1) マイカーの利用抑制
    - ・ 呉市内に事業所を持つ企業の協力により、国道31号を利用したマイカー通勤について、相乗りの徹底、通勤バスの活用、公共交通機関等への転換により、マイカー通勤の2割抑制を目標に取り組みを実施
    - ・ 呉市内の大学等の協力により、国道31号を利用したマイカー通学を抑制
  - (2) 公共交通機関の利用促進
    - ・ 利用者がバスを利用しやすくするため、災害時バスロケシステムを活用するとともに、バスの所要時間や乗車利用状況の実績、臨時ダイヤ情報等を一元的に発信
    - ・ 代行バスへの転換促進に伴う便数の確保
  - (3) ピークシフト
    - ・ 始業時間のシフトによる時差通勤・通学の推進
    - ・ 国道31号を利用する工事関係車両等の朝ピーク時間帯の利用抑制の徹底

- このほかにも、それぞれの関係機関において、マイカーの利用抑制、公共交通機関の利用促進、ピークシフト等に関する取り組みについて検討すべき。
- 今後、上記施策の効果を確認しつつ、更なる取り組みを検討するとともに、中長期的に、バスを中心とした地域の交通マネジメントの強化についても検討すべき。
- さらに、今回の災害における教訓を踏まえ、需要抑制を含めた効果的な取り組みを全国に展開するため、成果をとりまとめて発信していくべきではないか。